

令和4年度 第1回
 泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会
 (会議録要旨)

開催日時	令和4年10月21日(金) 午後1時30分～午後3時00分	
開催場所	ベルセンター 2階 第1研修室	
出席者委員	川井太加子、長野正広、赤崎文彦、藤原謙一、八木秀富、檀秀子、丸山喜弘、上東千草	
欠席者	高寺壽	
傍聴者	0名	
事務局	保険福祉部長 高齢介護課長 高齢介護課参事 高齢介護課給付保険料係長 高齢介護課長寿推進係長 地域包括支援センター所長 地域包括支援センター	松下 良 吉野 久絵 大和 宏行 柳原 京子 寺岡 早苗 鎮西 千晶 浅原 豊
案件	(1) 第8期計画の進捗状況について (2) 地域包括支援センターの実績について (3) 地域密着型サービスの運営状況について (4) 第9期計画策定に関するアンケート実施について (5) その他	

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員9名中8名の出席があり、会議成立の報告。
事務局	案件（1）第8期計画の進捗状況について説明 ①
委員長	案件（1）についてご説明いただきました内容について、ご質問、ご意見等ございましたらよろしく申し上げます。
委 員	要支援高齢者の早期発見というお話があったかと思いますが、これについて教えていただきたいと思います。薬局に来られる方で気になる方が結構いらっしゃるのですが、例えば、介護サービスを受けていない方を拾い上げて訪問するのでしょうか。どのような基準でされているか教えていただきたい。
事務局	例年、75歳になられた方および、要介護認定で非該当になった方々を訪問しています。 ただ、去年はコロナ禍で訪問があまりできなかったこともあり、在宅の実態把握を目的に75歳以上の方を対象にアンケートを実施しました。今後、アンケートで訪問希望と回答された方を対象に訪問していく予定です。 なお、要介護認定を受けている方は、担当ケアマネジャーが日々の状況把握をしていることから、アンケート対象外としています。
委 員	75歳以上でも非該当になった方は何歳でも訪問する可能性があるということですか。
事務局	非該当になれば、75歳以上の方でも訪問機会があります。本人が希望すれば、他の訪問制度があるのですが、例えば、福祉委員や民生委員の協力を得て、その方々に定期的に回っていただくような制度もございますので、そういうような制度につないでいくという流れになります。
委員長	他にございませんか。
委 員	ご説明ありがとうございました。今聞かせていただいて、介護予防講座への参加者がなかなか集まらないのだなど。理由としてもコロナがどうしても気になってということとはよく理解できるのですが、逆にコロナ以外で参加者が集まらない理由というのは何かあるのでしょうか。
事務局	コロナ禍で、運動機会を減らさないよう、これまでの講座を継続的に続けて

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>いたこともあり、新規講座の数は少なかったと思います。</p> <p>高齢者が集まることを敬遠していたことから、高齢者が集まる事業を実施するのは難しく、新規の講座やイベントの実施を控えていたということは一つ要因だと思っています。</p> <p>フレイル予防のため、運動の機会は減らしてはいけないことから、今まで実施していた事業をどのように継続できるかを考え実施していました。</p> <p>実際、新規講座も実施しています。歩き方講座や、フィットネスクラブと連携し負荷がかかる運動を8回連続講座で実施。フレイルの方対象というより、より元気な方を対象にした講座を実施しました。そういう新規の事業については、ある程度参加者が来てくれたと思っています。既存の事業プラス、皆さんが興味を持てる講座を開催し、受講者が増えれば、集まっていただく機会も増えてくるかなと考えています。</p> <p>元気な方は外に行かれることも多いかと思いますが、僕らも仕事の中で、参加したいけどそんなにできないという声もよく聞きます。そういったところもまた一つの課題として考えていただければと思います。</p>
委員長	他にございませんか。
委員	<p>定期的な検診の受診方法について伺いたいのですが、乳がん、子宮がんといった女性に関するものは受診率が高いのですが、胃がん、大腸がん、肺がんは性別関係なく受けなければならないのにも関わらず、急激にパーセンテージが落ちてしまっています。それは僕たち歯科でも同じで、マタニティーの検診は皆さん来られるのですが、成人歯科検診になると急に下がってしまうのですね。</p> <p>これはやはりみんなが悩んでいることでもあります。市の意見として、こういうふうにやればもっと受診率が上げられるのではないかと、今後の展開の中でこういうことを考えていますということがあれば、ぜひ教えていただきたいなと思います。</p>
事務局	<p>仕事をしている方は、役所が開いている平日の時間帯には来られないので、休日の検診を増やしたり、ホテルを利用してリラックスした空間で受診していただけるよう環境面での工夫をしています。</p> <p>効果的な実施方法を検討していますが、検診に来ていただく難しさを担当者から聞いているところです。</p>
委員長	<p>受診について非常に課題をお持ちだと思います。もし皆さん方からよいご意見がありましたら市のほうへ提供してください。検討いただけるのではないかと</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	<p>と思います。手法を変えて1回、2回はよくても次になるとまた同じようには集まらないということもありますので、常に変えていかなければならないと思います。よいアイデアがあればぜひ提供していただければと思います。ありがとうございます。</p> <p>他にご質問はございませんか。では次に移ります。</p>
事務局	<p>案件（1）第8期計画の進捗状況について説明 ②</p>
委員長	<p>ただいまのご説明につきまして、何かご質問がございましたらよろしく願います。</p>
委 員	<p>泉大津市の住民が他市のサービスを使った分、それも全部ひっくるめての数字ということですね。</p>
事務局	<p>はい。そうです。</p>
委 員	<p>ということは、これだけを見ると結構、計画的な実績というかたちでよく見えるのですが、泉大津だけのサービス、泉大津市にあるサービスの数字というのは分からないということですね。</p>
事務局	<p>今回の資料が、厚生労働省が運営している「見える化」システムから、給付状況データを活用したので総額しか分かりません。ただ、本市でサービスごとに給付状況を調べるシステムがあるので、それを活用すると分析は可能になると思います。少し時間が掛かります。</p>
委 員	<p>実は今、泉大津市の住民の方を他市のケアマネさんが持たれていて、他市のサービスを使っておられる方が結構おられます。それで泉大津市のデイサービスやヘルパーが少し衰退してきているということをおれわれやケアマネも地域課題として把握しています。そこを何とかしていかなければならないという話はしています。</p>
委員長	<p>データを出せるタイミングがあればお願いします。</p>
事務局	<p>おおよその市内、市外の数値は出せるかと思うので、概算といったかたちで捉えていただければ数字をお示しできると思います。</p>
委員長	<p>では他にごございませんか。引き続き説明願います。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	案件（１）第８期計画の進捗状況について説明 ③
委員長	<p>ただいまご説明いただきました内容について、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>半年の間に後期高齢者の率が去年と変わったということです。今後のことを考えましたら、次の計画でどのように反映していくかということになってくるかと思えます。予防に励まないといけませんね。</p> <p>ではご質問がないようですので、次の案件に進ませていただきます。</p> <p>続きまして案件（２）地域包括支援センターの実績について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	案件（２）地域包括支援センターの実績について説明
委員長	ただいまご報告いただきました地域包括支援センターの実績について、何かご質問、ご意見等ありましたらお願いします。
委 員	<p>高齢者虐待問題の記載で、24件という数字が挙がっています。高齢者虐待はどのような事案が多いのか教えてください。</p> <p>子どもの虐待は食事を与えず、死に至らしめたり、親が暴力を振るって何か所も骨折をするというようなことが大きく取り上げられますが、高齢者虐待というのはあまりニュースとしては取り上げられていないと思います。どのような内容があるのか。深刻な事例があるのかとか、その辺分かる範囲で教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>高齢者の虐待に関しては、一番多いのが身体的虐待です。親子げんかになるのかもしれませんが、ひどい親子げんかから始まって、それが常時、長期間続くというのが一番多い事例です。</p> <p>それから金銭搾取といった、ひきこもり状態で働いていないお子さんが親の年金をあてにして生活をするといった経済的な虐待もあります。</p> <p>身体的虐待のところでは、やはり暴力や心理的虐待、言葉の暴力ももちろんあります。そういったところで高齢者の方が怖い、逃げたい、離れて暮らしたいといった発言が出てくる場合があります。そういう場合には、本人を家庭から離さなければならない。どこか一時的にでも分離し、続くようであれば、施設入所を検討します。本人の処遇については、関係者で検討しながらチームで対応しています。</p>
委 員	死に至らしめるような、刑事事件になるようなものは今のところ発生はない

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	ということでしょうか。
事務局	そうですね。
委 員	相談に来る人は目に見える案件ですが、目に見えない日常的な虐待も考えられると思います。その辺の発見や対策は何かお考えでしょうか。少し難しいでしょうか。
事務局	行政から警察を通じてそういった案件についての情報提供が一番多いと思います。時々、地域の方々からも情報をいただくのですが、その情報だけではそこに踏み込んでいくのもなかなか難しいところもあります。分からないところにたくさん隠れているのではないかと危惧しています。
委 員	ありがとうございます。
委員長	今のことについて一言だけ。何をきっかけに暴力が始まるかというのは分かりますか。認知症になられた方が何度言っても分からないからつい手が出て、だんだんそれが激しくなるというのが多いのでしょうか。
事務局	一番多いのは、だんだんと親が高齢になってきて、認知度が低下してきて認知症になってきて、今までできたことができなくなったと。何度言ってもできない。なんでやと。 例えば、息子さんがおられ、介護もしなければならない、仕事にも行かなければならないというところで、介護疲れまではいかないものの、常に不安を抱える、そういった理由もあるのかなと思います。
委員長	そうなってくると、介護として介入する部分が割と明確になりますね。支援する方法は割とあるのではないのでしょうか。早期発見が大事ですね。
事務局	ケアマネジャーが付いていて介護保険を使っている方であれば、ショートステイや施設入所も考えられると思います。介護度によっても難しいところもあると思いますが、そういうところも考え対応していくことになるかと思います。
委員長	他にご意見、ご質問はございませんか。ないようですので、地域包括支援センターの実績については以上とさせていただきます。 続きまして案件（3）地域密着型サービスの運営状況について、事務局からご説明をお願いします。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	案件（３）地域密着型サービスの運営状況について説明
委員長	ではただいまのご説明についてご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。特にないようでしたら次に進ませていただきます。 次は案件（４）第９期計画策定に関するアンケート実施について事務局よりご説明をお願いします。
事務局	案件（４）第９期計画策定に関するアンケート実施について説明 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（案）
委員長	ただいまご説明いただきました案件についてご質問、ご意見がございましたらお願いします。
委 員	大変よく作られたアンケートだと思います。しっかり読んでいけば勉強になりますし、ベルセンターの役割についても、こういう役割もあるのだなと学ぶこともできる内容かと思いました。 問 11 のコロナウイルスの影響については大変興味がありますので、また結果をぜひ教えていただきたいと思います。 ただ、かなり量が多いですね。ぱっと見て、多いなと思うと回答するのをやめてしまうので、その辺を検討する必要があると思います。 しっかり読んで内容を理解していけば、いろいろ勉強になっていいと思います。
事務局	アンケート結果については、３月ぐらいに第２回の委員会を開催させていただく予定ですので、そこでお示しさせていただこうと思っています。 ご指摘いただいたように、聞きたいことがたくさんありすぎて、でも結局、設問が多くなると回答率が下がるということもありますので、外す項目もあるかもしれないということをご了承いただきたいと思います。
委員長	２種類の調査対象者は、要支援１、要支援２の人たちが入りますよね。
事務局	はい。
委員長	この人たちはダブらないように、まず①の調査の対象ということで出して、次に②を出すという感じですか。
事務局	はい。調査がダブらないように対象者を抽出いたします。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	引き続き、「災害時の避難場所についてご存じですか」という部分ですが、避難場所と避難所は違うじゃないですか。これはあえて避難場所を聞いているということでしょうか。
事務局	そこまで認識しておらず、何かあった時にご自身が逃げられる場所をきちんと把握しているかというような程度で考えています。
委員長	災害があった時にどこに逃げますか、でもいいのではないのでしょうか。 成年後見制度について、成年後見制度に関する質問の中に日常生活自立支援事業の項目が混在しているので、項目を質問内容順にまとめたほうが分かりやすいと思います。
事務局	分かりやすく構成いたします。
委 員	調査項目で災害が発生した時、手助けしてくれる人はいますかという質問があります。1人で避難できる方。1人で避難できないが手助けしてくれる人はいる方。1人では避難できないし、手助けしてくれる人もいない方と回答するということですが、自己判断で1人では避難できないが、助けてくれる人はいるという方が多いかもしれませんが、災害が起こった時に助けてくれるか助けてくれないか分からないという方もいると思うのですが、その方はどれに該当するのでしょうか。回答に困るのではないかと思います。
事務局	今の項目について検討させていただきます。
委 員	介護予防事業を利用したことがあるかという質問がありますが、今、存在している介護予防事業というのは5つだけですか。
事務局	他にもあります。
委 員	特にこれだけを取り出して聞いているというのは、何か意味があるのですか。
事務局	選択肢は長期継続している事業で、新規の事業はありません。地域に根付いているかを聞くために継続事業を選択肢に選びました。
委員長	他にございませんか。それでは引き続き、その他案件について説明をお願いいたします。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	案件（４）第９期計画策定に関するアンケート実施について説明 ※在宅介護実態調査（案）
委員長	ただいまの、案件についてご質問、ご意見ございませんか。
委 員	最後のヤングケアラーの問題ですが、この質問の回答者は、介護を担っている息子、娘、子の配偶者が主だと思えますが、ヤングケアラーの問題というのは、介護を担わされている中高生だと思えます。介護を丸投げされた中高生が精神的にひどい状態に追い込まれているけれども、そのことを誰にも言えないと。ものすごく心の中で葛藤して、犠牲になっている方もおられます。子どもに介護をさせても何とも思わないような親の場合は、子どもがヤングケアラーだということを正直に書かないと思えます。ヤングケアラーの実態が浮き出るかどうかが懸念します。
事務局	貴重なご意見だと思います。アンケート実績がない項目なので、回答があるかどうかも含めてアンケートを実施できたらと思っていました。実態についてのご意見はその通りかと思えます。ありがとうございます。
委員長	他にございませんか。
事務局	案件（５）その他（在宅生活把握調査結果報告書）について説明
委員長	今の説明に関してご質問はございませんか。
委 員	確認ですが、対象は要介護だけを除いているのですか。要支援だけですか。
事務局	要介護、要支援の担当ケアマネジャーが付いている方で、サービスを使っている方を除いています。
委 員	独居率が22.6%というのは、今までもこのような感じでしょうか。アンケートに答えていない方もおられると思えますが、独居かどうかは別の調査でも大体同じような数字でしょうか。
事務局	そうですね。この数値に近いが、もう少し独居率は高かったように思います。今、手元に数字がなくて申し訳ありません。
委 員	令和４年７月１日の調査というのが一番重要なポイントで、コロナの影響な

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	<p>のか、単にもともとこういう感じだったのかが分かりませんので、完全にコロナが落ち着いた時に同じような調査をするのか。コロナ前にやっていたらまた面白かったと思います。</p> <p>集まりができなくなって社会的フレイルが増えています。これもおっしゃったように反映が大切ですが、本当にコロナのせいかどうかまた分かりましたら教えてください。またリカバリーがきくかどうか。</p> <p>それから一番気になったのが、一番最後の「訪問を希望しますか」という質問です。以前、私の患者さんで、一人暮らしの女性のところに男性の介護士の方が行かれたことがあります。そういうことで、いきなり「訪問を希望しますか」という質問があると、「え、いきなり人がやってくるの?」と思う方もいるのではないかと思います。</p> <p>質問としては、訪問を希望する人 5.4%、201名というのはい多いのでしょうか、少ないのでしょうかということです。</p>
事務局	<p>予想よりも少なかったと思います。この 201 人の方は訪問を希望されているので、順次訪問していきます。</p> <p>返信のない方の状態もつかみたいところなので、返信のない独居の方で、福祉サービスや医療につながっていない方々も訪問できたらと考えています。</p>
委員	<p>私が経験した事例では、男性の方が女性の独居の方のところに訪問してきたと。しかも 1 人でやってきたそうです。そういうことも聞きますので、そういうことに注意していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
委員長	<p>他にございませんか。</p>
委員	<p>回答者の年齢のところですが、これは全体の割合の質問であって、回答率 50% 程度だったと思いますが、年代ごとの回答率を教えてくださいたいと思います。また、回答の返ってきていない方をフォローするということでしたが、その辺の分析でどの年代が何%かということが分かればと思いました。</p>
事務局	<p>今の段階では整理できていませんが、ご意見を参考にさせていただきます。</p>
委員長	<p>他にございませんか。では他にないようですので、本日の案件につきましては全て終了いたしました。ありがとうございました。</p> <p>では司会を事務局にお返しいたします。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>委員長、どうもありがとうございました。委員の皆さま、並びに出席された皆さまにおかれましては、長時間にわたりご審議ありがとうございました。これもちまして令和4年度第1回泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会を閉会いたします。なお、次回の開催は年度末に予定をしております。皆さまのご参加よろしく申し上げます。</p> <p>(終了)</p>